

校長室の窓'17

正則で 待ってるよ!



【いたくないかな?】

積極的に学校行事のお手伝いをいただいています。今年度は運動会の片付けのお手伝いを保護者の皆様にお願したところ、みるみるうちに片付いて、高学年も一斉下校させることができました。

第3位は、「ジャンボ木」があることです。ジャンボ木とは運動場西側にあるくすのきの巨木で、本校のシンボルです。春には20本以上のサクラが門出を祝い、夏には豊かな緑の木陰で憩い、秋には広い運動場で思いきり汗を流し、雪の冬には雪遊びと、わくわくする毎日がお子様を待っています。

第2位。「学校の名前がまさのりである」ということです。「まさのり」とは賤ヶ岳の七本槍で有名な秀吉の家臣、「福島正則」公の名前をいただいています。生誕地がすぐ西側にあります。そのご縁で、NHKの大河ドラマ「真田丸」の「真田丸紀行」で本校が紹介されました。いま、「プロジェクト MASNORI」として、正則の子が「まさのり」小であることを誇れるよう、様々な活動に取り組んでいます。

そして、第1位は…、「正則の子はみんな元気」ということです。校歌で「正則の子はみんな元気」という言葉が3回繰り返されます。本校の教育目標も「夢をもち未来を切り拓く一かしこく あたたくたくましく一」です。優しく元気なお兄さん、ファイトいっぱい職員、温かい地域のみなさんに見守られて、130年の歴史がある正則小学校で、お子様は元気いっぱいの6年間を過ごされることでしょう。

さて、わたくしからはお知らせとお願いを1つずつさせてください。

1つ目は、お知らせです。30年度からあま市のすべての小学校で、「学校二期制」を導入します。学期を3つに区切るのではなく、前期・後期の二つに区切るものです。新学習指導要領実施に向けて、終業式、始業式などを減らすことで授業時間に余裕を持たせ、お子様としっかり向き合うためです。

2つ目は、「読み聞かせ」のおすすめです。「もう小学生だから、ひとりで読めるでしょ。」ということも大切ですが、お子様はそのうちひとり立ちします。読んでやれる期間はそう長くありません。「ひとり読み」は視覚ですが、読み聞かせは聴覚も刺激してよりリアルな学習となります。少し前のCMに「絵本に出てきた王子様も、太陽も、お化けも、魔女も、オオカミも、みんなやさしい声でした。」というものがありません。お子様と過ごす「今」という時間を大切に、物語の世界への案内役をお願いします。

最後に、江戸時代の会津藩の子どもたちの話をします。会津藩では、同じ町に住む6歳から9歳までの藩士の子供たちが、十人前後で集まりをつくらせていました。この集まりのことを会津藩では「什（じゅう）」と呼びました。その集まりの約束は、次のようなものです。

- 一、年長者（としようのひと）の言ふことに背いてはなりません
 - 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません
 - 一、嘘言（うそ）を言ふことはなりません
 - 一、卑怯な振舞をしてはなりません
 - 一、弱い者をいぢめてはなりません
 - 一、戸外で物を食べてはなりません
- ならぬことはならぬものです

すべて大人たちに言われてつくったものではなく、「会津武士の子はこうあるべきだ。」ということ相互に約束し、励み合ったといいます。「ならぬことはならぬものです」、つまり、「だめなものはだめ」という、人として当たり前のことを小学校ではしっかりと身につけさせたいと考えています。

本校は公教育ですから、金メダリストも、アイドルも、Jリーガーも生み出すことはできないでしょう。その種をまくことはできても、実を結ぶのははるか先のことです。しかし、友達のため、家族のため、世の中のために役立ちたいとがんばる子を、全職員一丸となって育てます。いっしょに、がんばりましょう。